

令和3年3月8日

新入生の皆様へ

学 長

令和3年度前期における授業・ゼミ等の実施方針について

合格おめでとうございます。

さて、本学では、学内環境及び授業やゼミの実施において、新型コロナウイルス感染拡大防止に努めているところです。

令和3年度前期の授業・ゼミ等の実施については、別紙のとおりレベルを定め、「R3レベル2」により開始することといたします。依然、新型コロナウイルス感染拡大の終息が見通せない中、徹底した感染防止対策を講じるとともに、原則、対面によるものとしつつ、教室の規模や受講者数、教育効果などを勘案し、非対面（オンラインによるリアルタイム双方向遠隔授業や、あらかじめアップされたビデオ等をオンデマンドで受講する授業）やハイブリッド（非対面と対面をともに取り入れて行う授業）による授業も取り入れていくことします。

新入生の皆様におかれましては、ご不便をかけますが、この実施方針について理解いただき、学修の充実に努めていただきますよう、お願いいたします。加えて、同封する（総合型選抜で合格した皆さんには発送済み）「非対面授業の受講環境整備のお願い」をお読みいただき、可能な限り、受講用端末（パソコン等）及びインターネットへの接続環境の準備をお願いいたします。

なお、今後の状況により、レベルの変更等を行うことがあります。その際は、事前にお知らせいたしますので、あらかじめご承知おきください。また、通学に不安があったり、持病があったりする方は、「R3レベル1」以上の場合において考慮しますので、教務課や担当の教員に連絡してください。

以上

別紙

令和３年度前期における授業・ゼミ等の実施について

方針１ R３レベル０～２については、原則として対面による実施とする。

ただし、非対面で実施した方が対面で実施するよりも教育効果が見込まれる科目については、教員の判断のもと、非対面、ハイブリッドによる実施とする。

方針２ R３レベル３～５については、原則として対面による実施とはしない。

方針３ 教育効果を高めるとともに、学生と教員、及び学生同士の交流の場を確保し、大学生活をより充実したものにするために、１回生の導入科目や、教職科目のうち対面による実施の効果の高い科目を優先して教室を割り振る。

レベル		R 3 レベル 0	R 3 レベル 1	R 3 レベル 2	R 3 レベル 3	R 3 レベル 4	R 3 レベル 5
実施方針		原則、対面による実施とする 非対面で実施した方が教育効果が見込まれる科目については、非対面、ハイブリッドも可			原則、対面による実施としない		
授 業	講義 (卒論・修論等発表会 含む)	○	教室収容定員 2/3 以下○	教室収容定員 1/2 以下○	教室収容定員 1/2 以下○	非対面	非対面
	○		教室収容定員 1/2 以下○				
	実験・実技		教員が指示する	教員が指示する	教員が指示する	教員が指示する	停止
学外授業	○		○	○	○	教室収容定員 1/2 以下○	非対面
ゼミ・個別指導（卒論・修論 等の個別指導を含む）		事前に入構申請				停止	
学生の学内での自習							
教育実習 介護等体験 学校フィールド演習Ⅰ・Ⅱ		実習校・各施設等の判断による					

※１：いずれのレベルにおいても、対面の場合は「３密」回避等、感染防止対策を教員の管理・責任のもとで徹底する。マスクの着用、及び事前・事後の手指・器具・机等の消毒は必須。

※２：「ハイブリッド」とは、クラスを対面受講者とリアルタイム（またはオンデマンド）配信受講者に分け、同時に受講したり、受講者を週ごとに入れ替えたり、15回の授業のうちの半数回を対面、半数回を非対面としたりする授業方法のことをいう。

※３：「教室の収容定員の「2/3」とは、3人用机に、1席あけて2名が着席するイメージ。

※４：R３レベル１～３においては、101教室は学内で非対面授業を受講する教室として確保するので使用不可。

※５：履修者実績に基づき教務課において事前に教室の割り振りを行う。

※６：「事前に入構申請」は、学生自身が学生支援課に申請することをいう。同課で検討して不可になる場合もある。

※７：学生の通学における感染の不安は、R３レベル１以上の場合において考慮することとする。

※８：今後、各レベルの間にレベルを設けるなど、変更することがある（レベル1.5、2.5、…等）。変更の場合は遅くとも２週間前には発令するが、感染状況により急な変更になる場合もある。